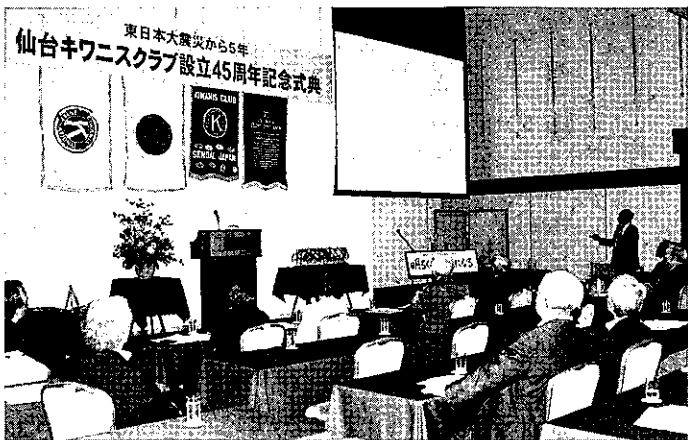


仙台キワニスクラブ設立45周年記念式典では、東日本大震災から5年経った被災地の現状が報告された＝10日、仙台市青葉区の仙台国際ホテル(石崎慶一撮影)



# 被災児童支援の現状報告

## 仙台キワニスクラブ 設立45周年記念式典

〈宮城〉国際奉仕団体「仙台キワニスクラブ」(佐藤嘉昭会長)は10日、仙台市青葉区の仙台国際ホテルで、設立45周年記念式典と祝賀会を開いた。

全国のキワニスクラブから約100人が出席。佐藤会長は5年前に東日本大震災で被災した子供たちの支援のために設立した「仙台キワニスクラブ子ども基金」に触れ、現在まで58カ所を支援してきた。引き続き支援を続けていくとあいさつした。

震災から5年の現状報告で

は、被災地の震災時と現在の様子や、南三陸町に「キワニスクラブ共同基金」と「子ども基金」で整備した子供たちの自習教室などが紹介された。

続いて、東北大学理学国際研究所の今村文彦所長が講演し、震災の教訓を後世に伝えることの重要性を説いた。出席者からは「太平洋と日本海の津波の違いは」など質問が相次いだ。

祝賀会では、復興支援のために結成された地元アイドルグループが歌と踊りを披露した。

### 「子どもの夢ネット」に

### 「社会公益賞」を贈呈

〈宮城〉仙台キワニスクラブは10日、今年度の「仙台キワニス社会公益賞」に「子どもの夢ネットワーク」(仙台市青葉区)を選び、同区の仙台国際ホテルで贈呈式を行った。社会福祉分野で活動を続けてきた県内の個人や団体を表彰する賞で、今年で44回目。

同ネットワークは平成21年に設置。身元保証人の確

保が困難などの課題を抱える児童養護施設出身者らの自立支援活動を精力的に行っていると評価された。

表彰状を受け取った下蔵康行代表(61)は「受賞を励みにしっかりと活動に取り組んでいきます」と喜びを語った。

仙台キワニスクラブの佐藤嘉昭会長(左)から「仙台キワニス社会公益賞」を贈呈された「子どもの夢ネットワーク」の下蔵康行代表

